

ミニガーデン彩る

丹波地域
5会場
10団体工夫凝らし

県丹波土木事務所が丹波地域の5会場で、一丹に沿った草花を彩っている。波の森ミニガーデン展

丹波並木道中央公園（西古佐）では、中野母親クラブが「きのこの森—いくつみつけられるかな」と題し、オリーブをシンボルツリーにコキアやコスモスなどを配し、森を表現。キノコの



施設を彩るミニガーデン＝丹波篠山市西古佐

フィギュアを点在させている。

また、篠山産業高校園芸部が「廃品を使った壁面緑化」と題し、カエデをシンボルツリーに机やいすのフレームを利用し、コリウスやアキランサスなどで立体的な植栽を施している。

各会場で配布のスタンプリーカードに3会場以上のスタンプを押すと、花の種2袋か、恐竜缶バッジ1個がもらえる。先着300人。

このほかの会場と出展団体、テーマは次の通り。兵庫丹波の森協会（0795・73・0933）。

【丹波の森公苑】▽丹波の森花くさぶ「明日に向かって」▽篠山東雲高校アグリプロダクト類型「希望の波動」【道の駅丹波おぼあちゃんの里】▽氷上高校の課題研究草花班「庭の小道—秋のある日」▽春日中学校「ハロウィン」【道の駅あおがき】▽丹波市商工会女性部有志「凜…ひとすじの光」▽青垣中学校「ようこそ—青垣へ—」【丹波年輪の里】▽南中ふれあい・いきいきサロン（山南町）「百歳体操中パートⅡ」▽丹波年輪の里職員有志「流木にたたく妖精の森」

2021年10月14日
丹波新聞